

地域安全学会「東日本大震災連続ワークショップ 2020 オンライン研究報告会」に参加しました(2020/7/3)

場所：オンライン

参加者：佐藤翔輔准教授，渡邊勇（M1）

7月3日（金），地域安全学会「東日本大震災連続ワークショップ 2020 オンライン研究報告会」が開催されました（主催：地域安全学会，共催：東北大学災害科学国際研究所）。地域安全学会は，研究者，技術者，国や地方自治体の実務者などによる，自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。同学会では，東日本大震災を契機とした今後の復興と防災について議論を深めていくことを目的として，東日本大震災発生以降，通常の研究発表大会とは別に同ワークショップを開催しています。第9回となる今回は宮城県名取市で開催予定でしたが，コロナ禍の影響で論文投稿者のうち，希望者によるオンライン研究報告会として簡易なかたちで開催されました。当研究室からは2名が参加いたしました。

【論文題目】※下線は当研究室メンバー，★印は口頭発表実施者，

・佐藤翔輔：東日本大震災の被災地における震災語り部・被災地ガイドの年代・性別・空間分布

★渡邊勇，佐藤翔輔，今村文彦：東日本大震災にみられた個々の教訓に対する理解度特性—東北大学 MOOC 受講者を対象にした事例研究—

・柳谷理紗，鈴木由美，佐藤翔輔，田中聡，重川希志依：自治体職員が行う災害エスノグラフィ—調査・編集・活用のプロセスの確立：仙台市役所職員による実践を踏まえて

・重川希志依，佐竹悦子，佐藤翔輔：みんなで伝えていかなきゃない—ゆりあげかもめの活動と今後の展開—

★松川杏寧，川見文紀，佐藤翔輔，立木茂雄：東日本大震災被災地の生活復興感パネル分析—名取市現況調査4年分のデータをもとに—

（文責：渡邊勇）